

～ 新潟のアーティストたち ～

新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団には、第1回演奏会から休むことなく連続して実施してきた企画がある。それが「新潟のアーティストたち」だ。音楽の専門教育を受けて演奏活動を展開する新潟出身の音楽家と、協奏曲というプラットフォームで共演しようというのがこの企画の狙いだ。

今回は「新潟のアーティストたち」のスペシャル版といった様相で、いちどきに4人のソリストたちとの共演を図る。ソリストたちは総て木管楽器。フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットの面々、演奏する曲目もすべてモーツァルトの協奏曲、それぞれの楽器を代表する協奏曲の名曲ぞろいだ。モーツァルトの魅力あふれるコンチェルト(協奏曲)を、心ゆくまでご堪能いただけたらと思う。

さらに、協奏曲に先がけてモーツァルトの交響曲もプログラムしている。そう、今回はすべてモーツァルトの作品ばかり。女性ばかりのソリストたちが一堂に集い、弥生三月ひな祭りならぬ、たっぷりコンチェルト&たっぷりモーツァルト。早春の憩いの時間を幸せな音楽で満たしていただきたい。

BIOGRAPHY

小武内 茜／ファゴット

新潟県燕市(旧吉田町)出身。新潟県立新潟中央高等学校音楽科卒業、武蔵野音楽大学器楽学科卒業。平成23年度武蔵野音楽大学卒業演奏会に出演。2012年にマルコ・ポスティンゲル氏マスタークラス受講。2013年・2015年・2016年に小澤征爾音楽塾オーケストラ・プロジェクトII、オペラ・プロジェクトXIII・XIVに参加。またサイトウ・キネン・フェスティバル・松本にて「子どものための音楽会」、「青少年のためのオペラ」に参加。

ファゴットを西川高司、故山本茂夫、故伊達博、岡崎耕治の各氏に、室内楽を岡崎耕治、吉岡アカリの各氏に師事。

東京都・新潟県を中心に演奏活動を行う他、後進の指導にあたる。

平成24～30年度 文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業～派遣事業～」に参加。平成28～30年度 桐朋学園大学音楽部 嘱託演奏員。都立小石川中等教育学校 小石川フィルハーモニーオーケストラ部 外部指導員。新潟ARS NOVAメンバー。

渡辺 茜／オーボエ

県立新潟中央高等学校音楽科、昭和音楽大学音楽学部器楽学科弦管打楽器演奏家コース卒業。オーボエを村山文隆、宮崎安代、佐竹正史、広田智之の各氏に、室内楽を宮田四郎、太田茂の各氏に師事。長岡市民音楽祭、下越バンドフェスティバル彩2017にてソリストをつとめる。

現在、新潟県内を中心にソロ、室内楽の演奏活動のほか、新潟市ジュニアオーケストラ教室等で後進の指導にあっている。トリオ・アンシュミネのメンバー。

石丸 涼子／フルート

昭和音楽大学音楽学部器楽学科(フルート専攻)卒業。第20回・第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第1回日本香港国際音楽コンクール(フルート・プロフェッショナル部門)第2位(1位なし)。同年香港にて、日本領事館主催の天皇誕生日記念式典に招かれ演奏を行う。これまでに、フルートを堀井恵、石橋正治、清水理恵の各氏に、ピッコロを時任和夫氏(フィラデルフィア管弦楽団)に師事。

現在、新潟県内外にてソロ・室内楽・オーケストラで演奏活動を行う他、三条市・長岡市・加茂市にて後進の指導にもあたっている。また、新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団主宰および新潟フルートアンサンブル・アカデミー代表を務めるなど、活動は多岐にわたる。三条市出身・在住。

広瀬 寿美／クラリネット

桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中、室内楽講座にてウルフ・ローデンホイザー氏のマスタークラスを受講、修了演奏会に出演。ベルリンフィルハーモニー管弦楽団首席奏者ヴェンツェル・フックス氏の公開レッスンを受ける。第38回新潟県音楽コンクール最優秀賞受賞。これまでに東京、千葉にてリサイタルを行うほか、現代音楽の分野に於いてソロや室内楽の演奏会に多数出演、初演も数多く手掛ける。クラリネットを二宮和子、藤井洋子、本田智子の各氏に、室内楽を故ゴールドベルク山根美代子、中川良平の各氏に師事。

現在は東京、新潟を中心にレコーディング、ラジオ出演など幅広く演奏活動を行う傍ら、後進の指導につとめている。勝田台クラリネット教室主宰、新潟ARS NOVAメンバー。

新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団

2011年春に創立された、県内で最も新しいオーケストラ。シンフォニーコンサート以外にもバレエ公演での演奏などに精力的に取り組んでいる。楽団ポリシーを「地域社会の求めに応じた演奏ができるオーケストラ」という点において活動展開している。県内で活動するプロフェッショナルな音楽家を結集し、楽団の核としているところに特徴がある。

我が国を代表するヴァイオリニスト大谷康子氏をソリストに迎えてヴィヴァルディ「四季」全曲演奏や、新潟県出身の音楽家を独奏者に迎えるシリーズ「新潟のアーティストたち」を行うなど、数々の意欲的な取り組みにより注目を集めている。

